

No. 1201

さて、御利益の程は

— 大阪・浪速 —

大阪、浪速区にある今宮戎神社。1月9日から3日間、恒例の今宮戎が開れた。10日の本戎には朝から雨にもかかわらず今年の福を求める参拝客で賑わった。「商売繁昌で笹もってこい」の掛け声に縁起物の福笹は参拝客の人気を呼び、神社で用意した17万本が次々に売れて行く。本殿の前に据えられたジャンボさい銭箱。今年は不況を反映してか、投げられるさい銭も小銭が多い。それでも「悲喜多彩、吾が人生よ六十一（とし）の春」と書かれた色紙に一万円札を張りつけたものや、「いいふく（1129）、ふくこい（2951）」などの縁起をかついだ語呂合わせの小切手も混っていた。不況の時ほど他人のふところが気になるもの、さい銭の入り具合はと神妙な顔つきでのぞき込む参拝客もいた。「なにがなんでもよい福をもらわなきゃ」と苦しい時の神だのみ。3日間に詰めかけた参拝客は120万人。さて「今宮のえべっさん」どんな御利益を授けていただけますか。

20歳の青春

1月15日は成人の日。今年は男子81万、女子77万の計158万人が大人の仲間入りをした。未来に向かって輝く炎。

晴れ着姿もまじる3000人のファンに見守られて行なわれる中日ドラゴンズの自主トレーニング。中日ではこの日、入団三年目の土屋ら4人が成人の日を迎えた。プロの世界は厳しくまだ芽の出ない土屋は成人の日今年こそはの誓いをたてた。

自主トレとは言え、真剣そのもの。練習にも自然と熱が入る。この夜、合宿での食事にはビールが出され、土屋、貝塚、松浦生田の4人の成人パーティーが開かれた。チョッピリにがいビールの味。

岩本寮長や服部二軍監督、他の選手から祝福を受け乾杯。早く一軍でバリバリ投げたい。

松浦と夜遅くまで楽しい語らいが続く。黙々とシャドウピッチングをくり返す。20歳の青春のすべてを野球に打ち込む土屋。未来は大きくひらかれて行くことだろう。